

第9回団体交流会グループワーク(No2テーブル)記録

平成28年6月28日 文責 木下

No	項目	内容
1.	開催日時・場所 G・W の時間	平成28年6月24日(金) 14時～16時 市民活動支援センター2階講堂 15時40分～16時
2.	参加者	石橋/食生活改善、梅川/さやか観光会、小川/まち研、窪田/天野街道と陶器山 近藤/文化協会、坂本/ボランティア連絡会、下津/ラジオクラブ、 田野/スマイル・スマイル、中林/三中円卓、丹 コーディネーター 木下
3.	講話に対する 感想・意見	1 将来の人口の状況がよく理解できた 2 時間が短く内容がよくわからなかった 3 資料にもとづく説明だけで、具体的な提言がなかった 市は何をするのか？ 4 人口減少を具体的にどうやって食い止めるのか対策を提示してほしい 5 戦略はいいと思うが、達成のための手段を考えていくと理解が深まるのでは 6 行政のサービスだけでは補えない部分を支える地域の活動者の確保が必要 所感)今後5年かけて実施計画をまとめるという部分が十分説明できていなかった ようである
4.	意見交換	
4-1	基本目標に関連 今やっていること	1. 子育てに関連し 池祭りへの協力、夏休み子どもカルチャー200人、 アレルギーの予防や子供の社会自立に関し地域、行政専門医と連携 2. 暮らし安心の環境 健康寿命を延ばすため食を通じた習慣病予防、 民生委員・地区福祉委員で地域ボランティアの支援、 高齢者の医療に関する啓発 3. まちの魅力を高める 陶器山の自然を守るため里山保全・希少生物保護、 魅力発信・人を呼び込む、 映像ロケ支援、シティセールスと広報活動、1400年記念無線局全国発信 1400年記念事業に協力しリレーウオーク、 円卓会議として夏祭りを始めて3回目になる 4. 地域経済活性化 特になし
4-2	住み続けたいまち にするため 何ができるか	1. 子育て関連 自分の住んでいる近所で自分のできる子育てを手伝う、 学校と協力しサークルや支援の手段を広げる、 アレルギーがあってもなくても安心して暮らせるようにする 2. 暮らし安心の環境 宅地開発の促進、自分のマンションの親睦会・福祉委員会立上げ、 市内にたくさんあるボランティア団体を整理して効率を上げる、 太子町の包括支援方式を見習う、災害対策をもっと充実させる、 なかまづくりに困っているみんなで考えよう 高齢者への医療に関する情報発信の工夫 3. まちの魅力を高める あまの街道、狭山池へのルートを整備する、 外来者を大切にもてなす・トイレ休憩所の整備 空き家対策を行政が率先して取り組み推進、 4. 地域経済活性化 対外情報を整備し効率を高める